



# 路政春秋

## 關山街道に異狀あり

箱根八里は馬でも越すが越すに越されな  
くなつた宮城縣の關山街道、奥州仙臺から  
山形への山道、駄馬さへ越し得なかつたが  
荷物を春に負つた往來人で山の宿場は賑は  
つたものだつたが、面白山のドテツ腹に穴  
があけられ近い内には汽車が通ふこととな  
つた。昔時を偲ぶ山の老嫗は涙の滲む目を  
しばたいて——戌辰の役には薩長の官軍  
が此時にも攻めて來たのだが何にもせずに  
姿が見へなくなつた。……昔は山には澤山  
猿が居て女の旅人などかちよい／＼いたづ  
らされたものだ、……それから仙臺の魚屋  
は皆この路を通つて山形迄魚を持つていつ

たが魚屋さん達は「山形では臭い魚が好き  
だ」とよく笑つてゐた、今では酒田方面か  
らどしどしもつてくるやうになつてからは  
駄目になつてしまつた、こんな調子で交通  
が發達するにつれて古い街道筋は淋れて、  
いまでは歩く人など少なくなつてしまつた。  
今度面白山トネルが出来て山形とはいよ  
いよ近くなつてゆく、だが新舊街道はとり  
殘されて昔若かつた時の華やかな旅の模様  
を思ひ出されますよ。

## 箱根國道に雲助駕籠

とは？

今年の殘暑は堪へ難いことであつた、箱  
根権現社に參詣せばやと圓タクを雇つた。

### 注 意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安  
と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざ  
る限り奇想天外的の寄稿を望む、一文  
は四百字位にて取捨は編輯者に一任、  
原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

小田原から走らしたのは一ヶ月の前となつ  
た。今は昔の雲助駕籠が通るぢやないか、  
初花の御禮参りかと思れば十徳婆の老紳  
士を乗せておつた、何の爲めにわざ／＼青  
刺シャツにチョン鬚カヅラの駕籠かき、活  
動寫眞のロケかといつ／＼目をとむれば驚  
いた、駕籠の中の老紳士は吾等の國士頭山  
先生であつた、八十の齡を越された國士に  
こんな苦しい思をさすとは何處の醉狂人が  
斯んな事を催したものかと心中私かに憤慨  
した、道路改良會ではワザ／＼バスで改良  
國道を視察しやうとして居るに舊街道を物  
ずきにも程があると、併し後で聞けば御當  
人々々昔時を偲ばれて——イヤもう昔の旅  
はなつかしいものだよ……ワシも此の箱根

を青年時代に雲助駕籠に乗つて通つた頃の事をいましみんくと思ひ出してなんとものなつかしいネ……かうした交通機關がガソリンの匂にだんく消し飛ばされてゆくのは残念でたまらん……

### 舗道の草に、永遠の命

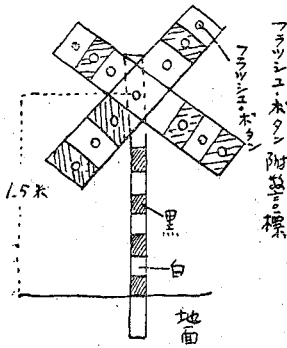
がある

「横濱の遊歩舗道——臨海道路は歩道が全側とも夏草に埋もれて通行が出来ない、従つて歩行者は仕方なく車道を歩かされる、所が車道には市のバスを始め圓タク、トラックが物凄いスピードで氾濫し、折角我々市民に提供されたハイキング・コースが危険の上もない状態だ、これは自動車業者にとつても車道にはみ出してゐる歩行者に悩まされることゝ思はれるし、これで交通事故がなければ不思議な位だ、尤も寒くなれば立派な人道に復活するだらうがまさか自然解決を待たれるのではないでせうね」と質問が提出され市の當局は——「アノ夏草に

は困つて居る……路沿の發展を待つての外ないと答へられたとの事である京に田舎あり矣。

### レベルクロツシングの「星」光る

鐵道の踏切に於ける事故防止には關係當局でも甚だ惱まされて居る問題で鐵道と道路との交叉問題は現に道路改良會で委員會を設けて審議研究中であると聞いて居るが今度



如き新型の警標器を東鐵長野保線事務所採用し長野縣下十六ヶ所の無看守主要踏切

の兩側に一對づつ設置、十二月迄には工事完了して事故絶滅を企ててゐる、東鐵に次いで全國では第二の試みで、高さ一メートル半の警標器には十四ヶのフラッシュボタンが付着、暗夜でも自動車のヘッドライトがこれに當ればボタンは忽ち光を發つて踏切りの存在を乗客に認識させる新装置——この風車型の「鐵路の星」光れ光れよ鐵路の明星。

### やすでの交通防害

鐵路に尊き血を滲ませて交通防害を敢てする生命輕視者が時折出現するが之れは亦オビバ・ヤスデ Fontalainha が集團的襲來をなして心臓の強い鐵道運輸に交通防害を與へたとの事が傳へられた、所は甲州大泉と清里間二俣隧道と清里、野邊山附近で延長は千五百米に及んで百米間に約四、五千匹のヤスデが他の死骸を乗り越へて進み若し此等多數のヤスデを轢殺すると強い脂肪はレールの上に塗布されて車輪は

空轉することとなつて危険至極である、だが今の處之れを防止する妙策が見出されな  
いと、の事である、一寸の蟲にも五分の魂、  
八分のヤスデに幾許の脂肪ぞ、砂利やセ  
ントやガソリンを飲む正體不明の動物もあ  
る世の中ちやヤスデが前の見ない、臭い  
鈍感で、しかも自分自身が臭いのだから始  
末がわるいと謂はれて居る、始末がわるい  
ものゝ交通防害は更らに始末がつきかぬ  
る、世はさまゝなるかなである。

## 將を肥さんが爲めに

### は先づ馬肥せ

▲體新開に「最近壯丁の體格が年々低下  
しつゝあることは、非常時日本、躍進日本  
の前途に大きな暗影を投ずるものであると  
して陸軍その他各方面において対策に苦心  
しておるとか。何が故に壯丁の體格が年々  
低下するか。夫は食糧の低下といふことが  
第一の原因であるといへよう。逐年不景氣  
は深刻になるばかりである。農村の収入は

低下するばかりである。従つて勞働者の食  
糧も低下するばかりである、しかして壯丁  
前の青年の大半は農業に従事するか工場で  
働くか、商店で働くかである。工場に於け  
る青年、又は商店に勤める若者の食糧を見  
よ決して腹一杯といふことは出来ない、副  
食物は極端にわるい……成長盛りの壯丁前  
の若き青年が一日に一回丈け二人分の食糧  
を取る者が非常によき體格を築き上げて行  
くのを見ると總ての筋肉勞働者に腹一杯食  
へよと私は言ひたい然し低賃銀の彼等の總  
てに之れを望むことは困難である云々」と  
尤も至極な意見である道路工夫の如き腹一  
杯酒一杯夫れで腹もはり疲勞も回復する、  
生活消費物の税金が高くなる、酒は勿論で  
ある、砂糖も高くなる賃銀は安くなつても  
高くはならない、親もやせ壯丁もやせる、  
體格は低下する、能率は舉がらない土木施  
工上この損失までが思ひやらるゝ此處が政  
治家の考へても考へなければならぬ要點で  
あるぞよ。

## 交通上やめたい事の

### 種々

交通上道路の修理、美化、清潔といふ事  
は大切な事柄で此頃地方で道路愛護會が設  
立せられ其の任に當ることとなつた、一日  
も速かに其の普及を望むのであるが都會地  
では未だそんな企は見られない、都市民の  
心懸けをよく導く方法を講じてもらいたい  
夫れはやめてもらいたい事が随分多いが一  
寸思ひ付いたことを舉げて見る、一、街頭  
に紙屑などをすてることをやめたい、二、  
街頭に唾やたんを吐くことをやめたい、三  
道路の眞中へ鼠の死骸を捨てることをや  
めたい、四、歩道へ自轉車を並べたり荷物  
を積んだりすることをやめたい、五、歩道  
をたてに自轉車を乗ることをやめたい、六  
街路樹の下枝を折ることをやめたい、七、  
煙草の吸殻を路面にすてることをやめたい  
、八、下水の水や魚を洗つた水を撒水す  
ることをやめたい、九、交通信號を無視す  
ることをやめたい、十、道路修繕用の砂利  
などを夜半盗み取ることをやめたい、十一、  
暗い路次に放尿は絶対にやめたい、十二、  
子供の道路でのロール、スケートはやめた  
い等々です。